

使用可能なサルの種類と頭数

令和3年度、霊長類研究所において利用可能なサルは下記のとおりです。

I. 実験殺又は手術用

1. 供給が予定されているもの

種名	体重・性別等	頭数	種名	体重・性別等	頭数
ニホンザル <i>Macaca fuscata</i>	2~15kg オス、メス	15	アカゲザル <i>Macaca mulatta</i>	2~15 kg オス、メス	10
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	30~450g オス、メス	5			

詳細については所内対応者にお問い合わせください。ニホンザルとアカゲザルについては1~3歳のものが多数を占めます。

II. 非実験殺用

1. 行動観察用（いずれも社会的なまとまりを持った集団）

種類	頭数	備考
ニホンザル <i>Macaca fuscata</i>	57	放飼場 (850 m ² ・年齢、血縁関係既知)
"	50	" (1,200 m ² ・")
"	57	" (730 m ² ・")
アカゲザル <i>Macaca mulatta</i>	60	" (700 m ² ・")
"	9	" (530 m ² ・")

放飼場やグループケージでの行動観察は、年度途中で採択された申請に対しても許可します。ただし他の研究者との調整が必要な場合がありますので、事前に対応者にご相談ください。

2. 採血用・行動実験用など：供給が予定されているものですが、種類・頭数には多少変動があります。

種類	頭数	種類	頭数
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	12	アカゲザル <i>Macaca mulatta</i>	50
アジルテナガザル <i>Hylobates agilis</i>	3	コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	10
ニホンザル <i>Macaca fuscata</i>	100		

行動観察用・採血用・行動実験用の区別は便宜的なものです。行動観察用の集団の採血は9月から11月にかけて行う放飼群の定期検診時をお願いします。行動観察用の集団から、秋に間引きを行う個体があります。上記の種類・頭数の範囲を越える研究の場合は、サルの使用計画「1. 研究計画・方法の詳細」の欄に明記してください。